

みやざき木育マイスター業務報告

氏 名	緒方 由紀子
実 施 場 所	木花こども園
実 施 年 月 日	令和6年8月7日
参 加 人 数	園児 38 名、地域サポーター 9 名、職員 7 名
活動の内容	○活動名 「地域サポーター養成講座」参加者：地域サポーター 9 名 みやざき木育プログラム「森の雫」の実施目的についてと作り方について、また、見守りのポイントについて伝えた。 ○実施内容 「森の雫」の目的である森と海のつながりについて、気仙沼市の森づくり活動を例に伝えた。そのあと、実際に「森の雫」づくりを行った。また、見守りのポイントである以下のことを伝えた。 ・姿勢の確認・腕の動かし方の確認・指をケガしないように ○活動名 「森の雫」実践 参加者：園児 38 名

活動の内容	○活動名 「地域サポーター養成講座」参加者：地域サポーター 9 名 みやざき木育プログラム「森の雫」の実施目的についてと作り方について、また、見守りのポイントについて伝えた。 ○実施内容 「森の雫」の目的である森と海のつながりについて、気仙沼市の森づくり活動を例に伝えた。そのあと、実際に「森の雫」づくりを行った。また、見守りのポイントである以下のことを伝えた。 ・姿勢の確認・腕の動かし方の確認・指をケガしないように ○活動名 「森の雫」実践 参加者：園児 38 名 みやざき木育プログラム「森の雫」を園児に実践した。 ○実施内容 「森の雫」の材料である“木”が山で育ち伐られたものであることを、写真（A3サイズ）（宮崎県のスギ山、伐採の現場、植樹の様子、苗木）を見せ伝えた。その後、紙芝居『もりのしずく』を読み、森と海のつながりについて伝えた。 「森の雫」の実践では、姿勢と腕の動かし方、紙やすりの使い方を説明し、思いを込めて作るように伝えた。園児の集中力を見て担任の先生に相談しながら時間を決め進めていった。塗装は行わなかったが、紐とビーズを通し完成とした。窓から熊野神社が見えることを地域サポーターの方が教えてくれたので、先生にカーテンを開けてもらい、材料と同じ“スギ”があることを伝え、森と海が友達であることを再度伝え終わりとした。 ○所感 事前に打ち合わせを行ったこともあり、当日はこちらが進めやすいように配慮されていた。（サポーターや園児の名札、机に新聞紙など）今後も事前の打ち合わせは必須だと感じた。ただ、当日の机（椅子）の配置が私に背を向ける形になっている箇所もあり、それをサポーターの方に言われるまで気が付かなかった。（余裕がなかった）今後の打ち合わせの際はそのあたりも配慮してもらうように伝えたいと思う。地域サポーターの方々が熱心に園児をサポートし、充実した顔で帰られる様子を見て、これを機会に園とサポーターの方々の交流が始まることで、地域の力を強めることになることを願いたい。
-------	---

活動の様子



地域サポーター養成講



「森の雫」実践
紙芝居『もりのしずく』



「森の雫」実践
地域サポーターと園児



「森の雫」実践